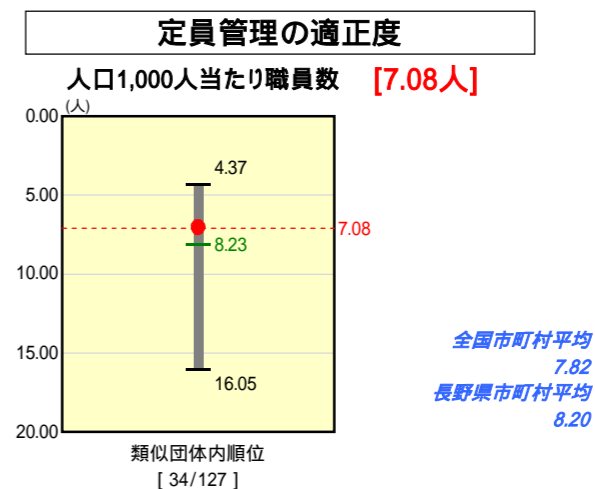
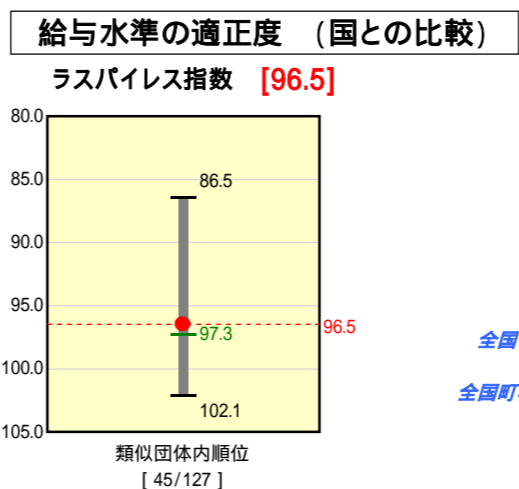
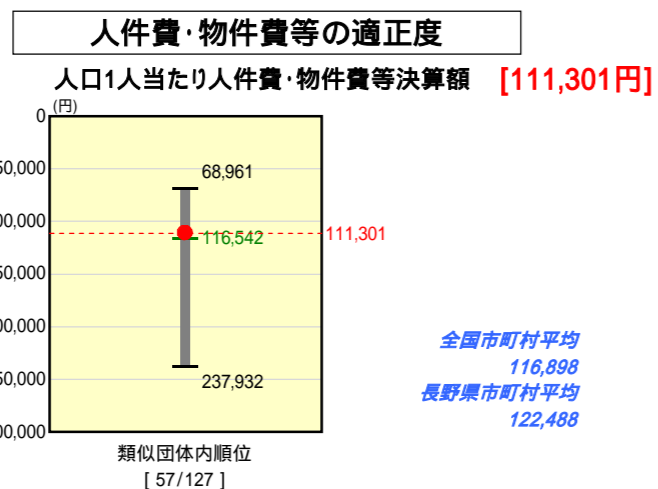
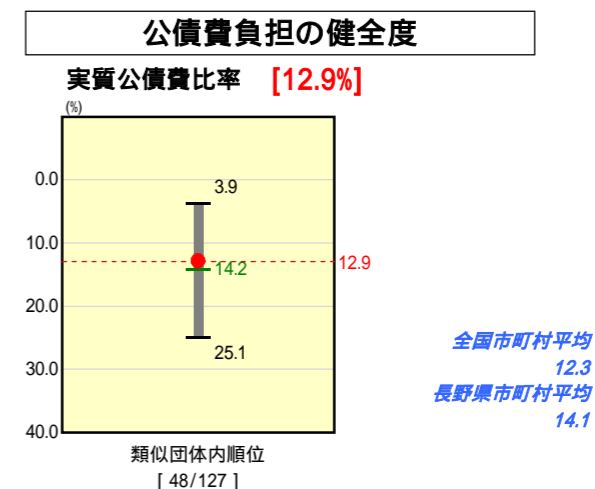
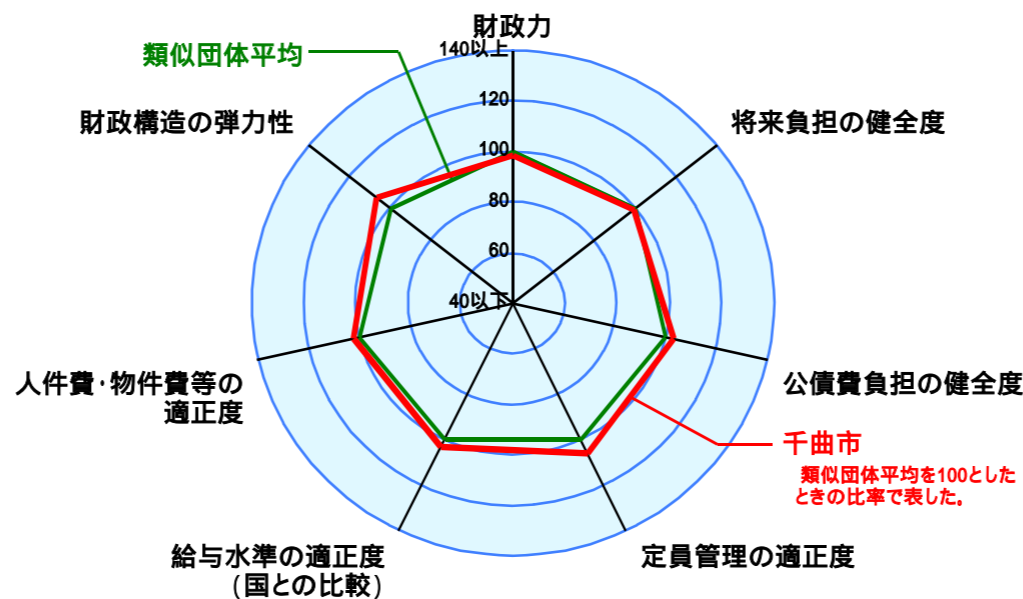
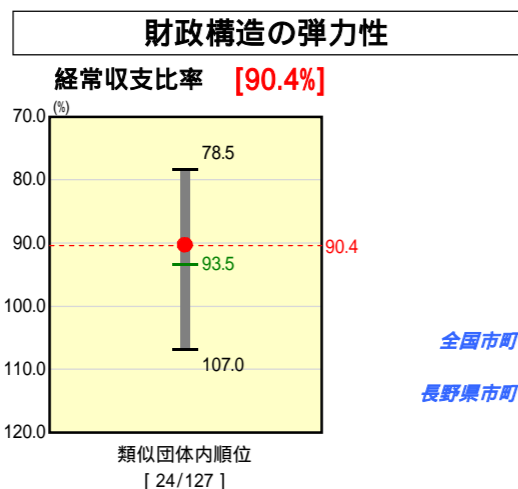
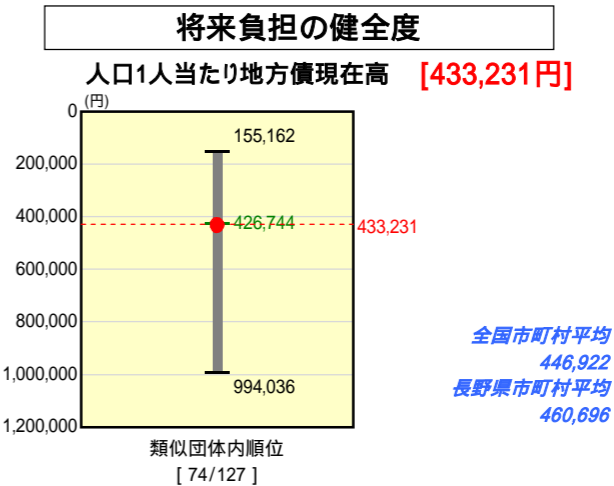
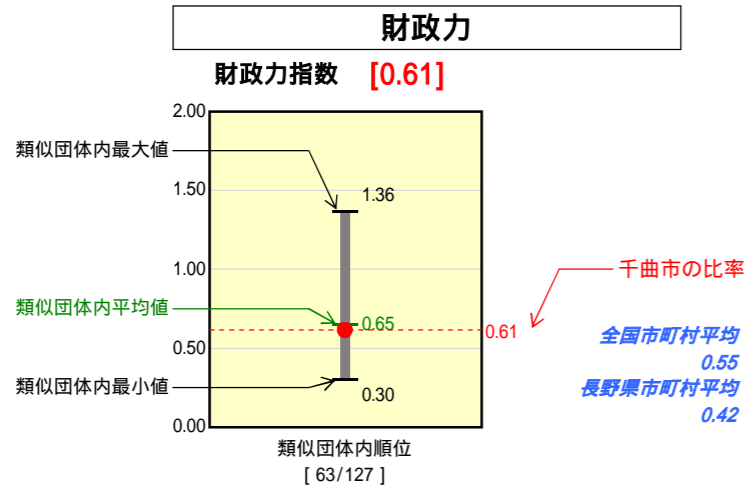


市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

長野県 千曲市

人口	63,516人	(H20.3.31現在)
面積	119.84	km ²
歳入総額	24,127,724	千円
歳出総額	23,767,614	千円
実質収支	289,879	千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
ラスパイレス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

【財政力指数】
平成17年度0.59、平成18年度0.61、平成19年度0.61とほぼ横ばいとなっており、類似団体平均を0.04ポイント下回っている。企業誘致を進めるなど産業振興を重点施策として、税収増加等の歳入の確保を図り、財政基盤の強化に努める。
【経常収支比率】
下水道会計への繰出金や公債費の増加により、平成18年度より5.1ポイントと大幅な上昇となった。類似団体平均との比較では3.1ポイント下回ってはいるものの、下水道会計への繰出金や公債費、さらに扶助費などの福祉関係経費は今後も増加することが見込まれる。歳入における経常一般財源の大幅な伸びは期待できない状況にあるため、事務事業の見直しを進め、経常経費の削減に努める。
【人口1人当たり人件費・物件費等決算額】
職員数の削減による人件費の減などにより、平成16年度123,262円、平成17年度118,362円、平成18年度112,493円、平成19年度111,301円と減少している。

【ラスパイレス指数】
平成17年度96.5、平成18年度96.5、平成19年度96.5と横ばいとなっている。類似団体平均を0.8ポイント下回っているものの、今後もより一層の給与の適正化に努める。
【人口1人当たり地方債現在高】
市町村合併に伴い、新市の一体感の醸成や均衡ある発展に資するため合併特例事業を積極的に取り入れてきたため、類似団体に比べ高い状況にある。合併特例債の活用には当たっては、将来負担を見据え、事業の厳選により計画的な発行に努める。
【実質公債費比率】
類似団体を1.3ポイント下回っているものの、下水道事業の起債償還額の増加に伴い、平成22～23年頃には15%前後まで上昇する見込み。合併特例債を有効的に活用しながら、事業を厳選し、新規発行の抑制に努めていく。
【人口1,000人当たり職員数】
合併直後の平成16年度と比較すると0.34ポイント下がっており、職員数にして28人の削減を行った。合併による管理部門等の統合によるものであり、類似団体との比較でも1.15ポイント下回っている。